

## ツキノワグマのクマはぎ(樹皮はぎ) & 親子の木登り練習！

2021. 6. 27

報告者: 有峰森林文化村 石黒 秀雄

編集者: 有峰森林文化村 田島 敏美

【クマはぎ】 歯と爪を使って樹皮を剥がし形成層をなめたり、かじりとる行動。

【対象】 クマはぎの対象として針葉樹が多いのは不明、樹皮をはいだ際に出る揮発性物質が誘引するとの説もある。ミズナラ、ハリギリ、カエデ類も対象との記録あり。

【被害】 スギ・カラマツなどの樹木の枯死。



有峰猪根平におけるカラマツへのクマはぎ。  
6/27夕方、休工している建設工事現場にて♀の成獣によるもの



大きな音をたてて樹皮をはいだあとに形成層をかじったり、なめたりしている。



前日(上記)にクマはぎされた跡。  
カラマツの直径は約40cm、ハギ跡の最長は90cm、幅60cm。





クマはぎ行動のあとは一旦繁みの中へ。  
その後、サクラの木へ移動し今年生まれた2頭の小グマと木登りの練習。



母グマは1月頃の出産とされる。  
通常は1~2頭で三つ子の確率はごくわずか。  
生まれた時の子グマの体重は300~400g。  
冬眠あけの5月下旬頃には体重は10倍となる。



来年の今頃は子グマと子別れです。

引用：  
1) ツキノワグマのすべて 文一総合出版 小池伸介著 澤井俊彦写真

2) HP森と水の郷あきた  
あきた森づくり活動サポートセンター総合情報サイト

撮影2021年6月27日 猪根平